

レース関係資料(1959～1967)

ホンダ F-1

ホンダ F-2

ホンダ 二輪

[ホンダは何故レースに出場するか？]

ホンダは、レーサーで車の性能、耐久性、安全性などを極限まで追求することを、メーカーの責務と考えます。二輪、四輪を問わずレーサーは、あくまで〈走る実験室〉です。

ホンダは、レーサーを開発する過程で、数々の技術の追求を行ない、そのすべてが、ホンダの一般市販車に生かされていきます。

< F - 1 レースについて >

現在、欧米で数多くの自動車レースが開かれていますが、競技車両の規約、主要レースの運営は、国際連合の下部組織である F I A (国際自動車連盟、本部パリ) の C.S.I (国際スポーツ部会) ですべて統括しています。

F I A 公認の自動車競技には、フォーミュラレース (F - 1, F - 2 など) スポーツカーレース、ラリー、ヒルクライムなどいろいろありますが、その中で最も権威ある四輪車のレースが F - 1 で行なわれるグランプリレースで、この内 11 のレースがグラン・エープループと呼ばれて、これにドライバー及びマニユファクチャラー (メーカー) の世界選手権がかけられています。世界一流自動車メーカーの大部分は現在または過去にこのグランプリに参加しており、このレースに勝つことは、そのままメーカーの自動車技術の勝利につながるといわれております。

F - 1 エンジンの気筒容積 3 0 0 0 cc 以下 (過給装置付きは
1 5 0 0 cc 以下)。最低重量 5 0 0 Kg

F - 2 年間 5 0 0 台の生産実績を持つエンジンで、気筒容積 1 3 0 0
cc 以上 1 6 0 0 cc 以下。最低重量 4 2 0 Kg

F - 3 年間 1 0 0 0 台の生産実績を持つエンジンで、気筒容積
1 0 0 0 cc 以下。シリンダー個数 4 個。最低重量 4 0 0 Kg

現在ホンダは F - 1 にのみ出場しておりますが、1965 年までは F - 1 の規格は 1 5 0 0 cc 以下で、1966 年までは F - 2 の規格は 1 0 0 0 cc 以下となっていました。

1965年メキシコGP優勝!!

ホンダF-1 (1500cc)

N6-11

1965年10月24日快晴に恵まれたメキシコ市ロドリゲス・サーキットには、オルダス大統領以下6万人の大観衆がつめかけた。!

レース開始20分前、スタートラインに17台が公式予選タイム順に2台ずつ整列、ポールポジションは本年度チャンピオンが決定しているクラーク、続いて一昨年度メキシコGP優勝者ガーニー、ホンダのギンサーは3番目で、2列目の左、以下プラバム、ヒル、スペンス、パンディーニ、スチュアート、バックナムと世界一流のドライバーが並んでいる。

各車一斉にスタート、まずクラークがトップに飛び出す。ギンサーやは遅れたが、すぐにダッシュ、スタートから1.5km地点にある第一カーブでクラークをとらえ一瞬に抜き、ついにトップ。コースを埋めた大観衆はホンダの活躍に湧きに湧いている。

5周目ギンサーは2位のスペンスを約20mリード、以下スチュアート、ガーニー、ヒル、パンディーニの順。7周目9位にいたクラーク調子が出ず、ついにエンジントラブルでリタイア。ギンサーのホンダはますます快調。ついに2位のスペンスとの差は200mとなり独走態勢となる。

12周目ギンサー依然トップ、続いてスペンス、ガーニーはヒルを抜いて3位。20周目にはついに2位に進出してきた。

40周目ギンサーは2位ガーニーを300mリード。以下スペンス、ヒル、シフェール、ソラナ、バックナム(ホンダ)、ボニエ アトウッドの順。56周目ギンサーは1分56秒0のラップレコードを樹立。しかし次の周にはガーニーが1分55秒8(平均速度155.4km/h)でラップ記録を更新、猛然

とスパートしてきた。

しかしトップのギンサーは余裕十分、大観衆のドヨメキの中を2位ガーニーに3秒弱、約150mの差をつけてゴール、全コース335kmを2時間8分32秒10、平均速度151.7km/hで見事ホンダF-1初優勝を飾った。なお僚友バックナムも9位から追上げ5位に入賞。

ホンダの技術水準の高さをいかんなく実証した。

<レース結果>

ロドリゲス・サーキット 1周5.12km 65周335km

順位	ドライバー	車名	時間	平均速度
1	リッチャー・ギンサー	ホンダ	2° 8'32"10	151.7 km/h
2	ダン・ガーニー	プラバム	2° 8'34"99	151.643 //
3	マイク・スペンス	ロータス	2° 9'32"25	150.425 //
4	ジョー・シフェール	プラバム	2° 10'26"52	149.502 //
5	ロニー・バックナム	ホンダ	1周おくれ	149.875 //
6	リチャード・アトウッド	ロータス	"	147.059 //
B L	ダン・ガーニー	プラバム	1'55" 8	155.4 //

◇ レース脱落した主なドライバー

ジム・クラーク(ロータス)、ジャック・プラバム(クーパー)、チャッキー・スチュワート(BRM)、ヨッヘン・リント(クーパー)

1967年イタリアGP優勝!!

ホンダF-1 (3000cc) No-30

1967年9月10日、世界グランプリ中、最速のレースが行なわれるモンツァ・サーキットは絶好のレース日和に加えて、この年のヨーロッパ・チャンピオンシップレースとあって、15万人を越える大観衆がつめかけた。

ホンダのジョン・サーティーズはゼッケン14、4列目外側に位置し、クラーク、ブラバム、マクラレーンをはじめ8台のマシンが前に整列している。

スタートは3時30分。

第一周のラップはダン・ガーニーがとる。ホンダは9位。

13周目、ハルム、ブラバム、ヒルと続き、ホンダは4位。30周まで快調に飛ばす。31周目、2位を走っていたハルムがリタイヤ、ホンダは3位にあがる。サーティーズの後には、フェラーリのクリス・エイモンが9周目からびたりとついたまま。

58周目、ヒルがコースアウト、クラークに追い上げられ、1位ブラバム、2位クラーク、3位サーティーズ。65周目、ゴールまであと3周。サーティーズはブラバムを抜き2位。

ついに最終ラップの68周目、クラークのロータス・フォードはペースが落ちた。サーティーズとブラバムの激しいデッドヒート。最終コーナー、ブラバムはオイルにのり、一瞬ハンドルをとられる。サーティーズは、ブラバムを一気に抜き、ゴールに直進。チェックカードフラッグが振られた。ホンダ優勝。

ホンダは、一昨年旧F-1レース(1.500cc)のメキシコGPに優勝したが、今度のイタリアGP優勝で新旧F-1両レースを制覇したわけで、レ

ース後ホンダF-1とサーティーズは万を越える観衆に取り囲まれ、数時間もコースに立往生するほどの圧倒的な人気だった。

今度のイタリアGP出場のホンダF-1は、エンジン、車体ともさらに軽く強力に改造を加えた新型車で、ホンダの<走る実験室>としてだけでなく、日本の自動車技術の優秀性を広く世界に実証した。

＜レース結果＞

モンツァ・サーキット 1周 5.755 Km 6-8周 3.91 Km

順位	ドライバー	車名	タイム	平均速度
1	ジョン・サーティーズ	ホンダ	1' 43" 45"	226.119 Km/h (新記録)
2	ジャック・ブラバム	レプコ・ブラバム	1' 43" 45" 2	
3	ジム・クラーク	ロータス・フォード	1' 44" 08" 1	
4	ヨッヘン・リント	クーパー・マセラティ	1' 44" 41" 6	
5	マイク・スペンス	B.R.M	1周おくれ	
6	ジャッキー・イクス	クーパー・マセラティ	2周おくれ	
B.L.	ジム・クラーク	ロータス・フォード	1' 28" 5	233.89 Km/h

◇ 従来の記録 平均速度 218.748 Km/h (1966年、フェラーリ、ドライバーはスカルフィオッティ)で、僅か1年の間に、ホンダは驚異的なスピード記録をマークした。

◇ レース脱落した主なドライバー

グラハム・ヒル(ロータス)、ジャッキー・スチュアート(BRM)、ダン・ガーニー(イーグル)、デニス・ハルム(ブラバム)

〈諸元表〉 ホンダ F-1

ホンダ F-2

F-1 1964年度出場車

エンジン		フレーム	
機種名	RA271E	機種名	RA271F
エンジン型式	60°V型 12気筒	ホイルベース	2300mm
内径×行程	58.1×47	トレッド(フロント)	1300mm
総排気量	1495	" (リヤー)	1350mm
点火方式	バッテリーマグネット点火	全長	3710mm
圧縮比	10.5	全高	800mm
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1625mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	85mm
バルブ型式	DOHC	ボディー型式	軽合金モノコック及びパイプ連結
電化器	ホンダ製吸込管連続噴射式	タイヤ(前)	600L-13(ダンロップ)
燃料ポンプ	電動式	" (后)	700L-13(")
冷却方式	水冷	燃料タンク	130ℓ
変速機	前進6段 後進1段	ブレーキ方式	ディスクブレーキ
最高出力	220PS/12000RPM	懸架方式	ダブルウイッシュボン
最高速度	300Km/Hr	車輛重量	525Kg
重量(乾燥)	209Kg		

F-1 1965年度出場車

エンジン		フレーム	
機種名	RA272E	機種名	RA272F
エンジン型式	60°V型 12気筒	ホイルベース	2300mm
内径×行程	58.1×47	トレッド(フロント)	1350mm
総排気量	1495cc	" (リヤー)	1370mm
点火方式	バッテリーマグネット点火	全長	3950mm
圧縮比	10.5	全高	793mm
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1675mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	80mm
バルブ型式	DOHC	ボディー型式	軽合金モノコック及びパイプ連結
化 器	ホンダ式吸入管噴射式	タイヤ(前)	5.50-13(グッドイヤー)
燃料ポンプ	電動式	" (后)	7.00-13(")
冷却方式	水冷	燃料タンク	180ℓ
変速機	選抜駆動前進6段後進1段	ブレーキ方式	油圧ブレーキ(ガーリング製)
最高出力	230PS以上 / 12000rpm	懸架方式	ダブルウイッシュボン
最高速度	300km/H以上	車輛重量	498kg
重量(乾燥)	215kg		

F--2 1965年度出場車

エンジン		フレーム	
機種名	R A 3 0 0 E	機種名	B R A B H A M
エンジン型式	直列4気筒	ホイルベース	2 3 3 5 mm
内径×行程	72×61.2	トレッド(フロント)	1 3 1 0 mm
総排気量	996 cc	" (リヤー)	1 3 3 0 mm
点火方式	バッテリーマグネット点火	全長	3 9 8 0 mm
圧縮比	10.5	全高	7 8 7 mm
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1 6 2 0 mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	8 0 mm
バルブ型式	DOHC 4バルブ/シリンダー	ボディー型式	鋼管スペースフレーム(パイプ)
気化器	ホンダ式吸人管連続噴射式	タイヤ(前)	5.00-13 (グッドイヤー)
燃料ポンプ	電動式	" (后)	7.00-13 (")
冷却方式	水冷	燃料タンク	80ℓ
変速機	逆抜摺動前進6速后進1速	ブレーキ方式	ディスクブレーキ(ロッキード)
最高出力	135PS以上/10000 rpm	懸架方式	ダブルウイッシュボン
最高速度	250 Km/Hr以上	車両重量	420 Kg
重量(乾燥)	145Kg(ギヤーボックス含む)	ステアリング	ラックアンドピニオン

E-1 1966年度 出場車

エンジン		フレーム	
機種名	RA273E	機種名	RA273F
エンジン型式	90°V型1・2気筒	ホイルベース	2510mm
内径×行程	78×52.2	トレッド(フロント)	1550mm
総排気量	2992	" (リヤー)	1486mm
点火方式	ホンダ式トランジスタ一点火	全長	3955mm
圧縮比	10.5	全高	845mm
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1688mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	90mm
バルブ型式	DOHC 4バルブ	ボディ一型式	軽合金薄板モノコックボディー
化油器	ホンダ式 低圧吸入管噴射式燃料噴射装置	タイヤ(前)	9.20-15(グッドイヤー)
燃料ポンプ	電動式	" (后)	11.50-15(")
冷却方式	水冷	燃料タンク	240ℓ
変速機	當時噸合前進5段後進1段	ブレーキ方式	ディスクブレーキ(ガーリング)
最高出力	400PS以上 / 10000 rpm	懸架方式	ダブルウイッシュボン
最高速度	350km/H	卓幅重・盤	650Kg
重量(乾燥)			

(1966年及び1967年前期出場)

10.000

F-2 1966年度 出場車

エンジン		フレーム	
機種名	R A 3 0 2 E	機種名	BRABHAM
エンジン型式	直列4気筒	ホイルベース	3 9 8 0 mm 2335mm
内径×行程	78×52	トレッド(フロント)	1 2 7 0 mm
総排気量	996 cc	" (リヤー)	1 2 4 5 mm
点火方式	バッテリーマグネット点火	全長	4 5 0 0 mm 3980mm
圧縮比	10.5	全高	7 8 7 mm
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1 6 2 0 mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	8 0 mm
バルブ型式	トーションバーバルブスプリング DOHC 4バルブ/シリンダー	ボディー型式	鋼管スペースフレーム
化器	ホンダ式吸入管連続噴射式	タイヤ(前)	5.00-13 (グッドイヤー)
燃料ポンプ	電動式	" (后)	7.00-13 (")
冷却方式	水冷	燃料タンク	80ℓ
変速機	逆拔摺動前進5速后進1速	ブレーキ方式	ディスクブレーキ
最高出力	150 PS / 11000以上	懸架方式	ダブルウイッシュボン
最高速度	270 Km/Hr以上	車両重量	420 Kg
重量(乾燥)	145Kg (ギヤーボックスを含む)	ステアリング	ラックピニオン

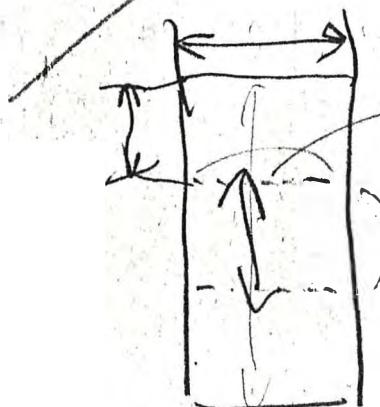
E-1 1967年度 出場車

エンジン		フレーム	
機種名	RA273E	機種名	RA300
エンジン型式	90°V型 12気筒	ホイルベース	2464mm
内径×行程	78×52.2	トレッド(フロント)	1464mm
総排気量	2992	" (リヤ)	1442mm
点火方式	ホンダ式トランジスター点火	全長	3955mm
圧縮比	10.5	全高	845mm
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1788mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	90mm
バルブ型式	DOHC 4バルブ/シリンダー	ボディー型式	前部軽合金薄板モノコックフレーム 後部鋼管ベースフレーム
気化器	ホンダ式 低圧吸入管噴射式燃料噴射装置	タイヤ(前)	4.75/10.30-15(マイヤーストン)
燃料ポンプ	電動式	" (後)	(6.00/12.30-15) "
冷却方式	水冷	燃料タンク	200ℓ
変速機	常時啮合前進5段後進1段	ブレーキ方式	ディスクブレーキ
最高出力	20PS以上 / 11500 rpm	懸架方式	ダブルウイッシュボン
最高速度	350km/H以上	車両重量	590kg
重量(乾燥)	200kg		

(1967年後期出場)

2.4.5

エンジン		フレーム	
機種名	R A 3 0 1	機種名	
エンジン型式	90°V型 12気筒	オイルベース	2410mm
内径×行程	78×52.2	トレッド(ロー)	1440mm
総排気量	2992	" (リヤ)	1400mm
点火方式	ホンダ式トランジスター点火	全長	3,800
圧縮比	11.5	全高	1,880 897 1095
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1,880 897
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	85
バルブ型式	DOHC 4バルブ方式	ボディー型式	モノコック構造
気化器	ホンダ式 低圧吸人管定時噴射装置	タイヤ(前)	9.5-13(ファイヤーストン)
燃料ポンプ	電動式	" (後)	14.0-13 "
冷却方式	水冷	燃料タンク	200ℓ
変速機	常時噛合前進5段後進1段	ブレーキ方式	
(最高出力)	450PS以上	懸架方式	
最高速度	360km/h以上	車両重量	530Kg
重量(乾燥)			



13.0 in

9.5 in

Ford 410ps 52.0km/h
20kg 車重 120% Ford ハード

75-1 450ps

ロードホールド

マツダ(ミオルーバード) + LC
1.5L (マツダ1300) 1.5L

1.5L (マツダ1300) 450ps

67年型と基本的構造は同じで
形状だけが変わった

420 → 450ps

-12-

790kg → 530kg

F — 1

F — 2

世 界 G P 記 錄

1964 年度

F - 1

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
		ドイツ GP		1周 22.810km (15周) 342.150km	
		ニュールブルクリンク			8月 2日
F - 1	1	フェラーリ	J. サーティーズ	2'13"06"	
	2	B R M	G. ヒル		
	3	フェラーリ	L. バンディーニ		
	4	フラバム	J. シェファード		
	5		トリンティイアン		
	9	ホンダ	R. パックナム	12周完走	No-20
	BL	フェラーリ	J. サーティーズ	8'39"	158km/h
		ホンダ	F-1初参加		
		イタリア GP		1周 5.75km (78周) 448.5km	
		モンツァ			9月 6日
F - 1	1	フェラーリ	J. サーティーズ	2'10"51"	203.634km/h
	2	クーパー	B. マクラレーン	2'11"57"	
	3	フェラーリ	L. バンディーニ	1周 遅れ	
	4	B R M	R. ギンサー	1周 遅れ	
	5	B R M	アイルランド		
		ホンダ	R. パックナム	14周でリタイヤ	No-28
		アメリカ GP		1周 3.68km (110周) 404.8km	
		ワトキンズ・グレン			10月 4日
F - 1	1	B R M	G. ヒル	2'16"38"	178.6 km/h
	2	フェラーリ	J. サーティーズ		
	3	フラバム	J. シェファード		
	4	B R M	R. ギンサー		
	5	ロータス	ハンセン		
	BL	ロータス	J. クラーク	1'12"7	182 km/h
		ホンダ	R. パックナム ホンダこの他のレースには不出場	51周でリタイヤ	No-25

1965年度

F - 1

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
(1) 南アフリカ G P	イースト・ロンドン			1月 1日	
		ホンダ出場せず			
(2) モナコ G P	モンテ・カルゴ			1周 3.145 km (100周) 314.5 km	
					5月 30日
F 1	1	B R M	G. ヒル	2' 037' 39" 6	119.637 km/h
	2	フェラーリ	L. バンデーニ	2' 038' 43" 6	
	3	B R M	J. スチュアート	2' 039' 21" 5	
	4	フェラーリ	J. サーティーズ	1周 遅れ	
	5	クーエンブリッジ	B. マクラレン	2周 遅れ	
	6	ブランズ-H B R M	J. シフェール	2周 遅れ	
		ホンダ	R. ギンサー	2周でリタイヤ	No. 20
		ホンダ	R. バックナム	34周でリタイヤ	No. 19
(3) ベルギー G P	フランコルシャン			1周 14.12 km (32周) 415.2 km	
					6月 13日
F 1	1	ロータス	J. クラーク	2' 023' 34" 8	188.550 km/h
	2	B R M	J. スチュアート	2' 024' 19" 6	187.574 km/h
	3	クーパー	B. マクラレン	1周 遅れ	
	4	ブランズ-H	J. ブランズ	1周 遅れ	
	5	B R M	G. ヒル	1周 遅れ	
	6	ホンダ	R. ギンサー	1周 遅れ	No. 10
		ホンダ	R. バックナム	6周でリタイヤ	No. 11

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
(4) フランス G P クレルモン・フェラン					1周 8.055 km (40周) 32 2.2 km
					6月27日
F - 1	1	ロータス	J. クラーク	20' 14" 28" 4	143.580 km/h
	2	B R M	J. スチュワート	20' 15" 04" 7	143.110 "
	3	フェラーリ	J. サーティーズ	20' 17" 11" 9	140.900 "
	4	ブラバム	D. ハルム	20' 17" 31" 5	140.570 "
	5	B R M	G. ヒル	1周 遅れ	
	6	ブラバム	J. シェファード	1周 遅れ	
		ホンダ	R. ギンサー	10周でリタイヤ	140.26
		ホンダ	R. バックナム	4周でリタイヤ	140.28
	BL	ロータス	J. クラーク	3' 18" 9	145.791 " (新記録)
(5) イギリス G P シルバーストーン					1周 4.815 km (80周) 37 6.85 km
					7月10日
F - 1	1	ロータス	J. クラーク	20' 05" 25" 4	180.3 km/h
	2	B R M	G. ヒル	20' 05" 28" 6	180.2 "
	3	フェラーリ	J. サーティーズ	20' 05" 53" 0	179.62 "
	4	ロータス	M. スペンス	20' 06" 00" 0	179.33 "
	5	B R M	J. スチュワート	20' 06" 40" 0	178.51 "
	6	ブラバム	D. ガーニー	1周 遅れ	
		ホンダ	R. ギンサー	26周でリタイヤ	140.11
	BL	B R M	G. ヒル	1' 32" 2	183.92 "
(6) オランダ G P ザンドボート					1周 4.193 km (80周) 33 5.44 km
					7月18日
F - 1	1	ロータス	J. クラーク	20' 03" 59" 1	162.326 km/h
	2	B R M	J. スチュアート	20' 04" 07" 1	162.156 "
	3	ブラバム	D. ガーニー	20' 04" 12" 1	162.048 "
	4	B R M	G. ヒル	20' 04" 44" 2	161.351 "
	5	ブラバム	D. ハルム	1周 遅れ	
	6	ホンダ	R. ギンサー	1周 遅れ	
	BL	ロータス	J. クラーク	1' 30" 6	166.608 "

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
(7) ドイツ G P					8月 1日
ニュールブルックリング					
ホンダ出場せず					
(8) イタリア G P					9月 12日
モンツア					
F - 1	1	B R M	J. スチュワート	2° 04' 52" 8	209.961 km/h
	2	B R M	G. ヒル	2° 04' 56" 1	
	3	ブ ラ バ ム	D. ガーニー	2° 05' 09" 3	
	4	フェラーリ	L. パンディーニ	2° 06' 08" 7	
	5	ク ー バ ー	B. マクラレン	1周 遅れ	
	6	ロ ー タ ス	R. アットウッド	1周 遅れ	
		ホ ン ダ	R. ギンサー		No. 20
		ホ ン ダ	R. バックナム	61周 でリタイヤ	No. 22
(9) アメリカ G P				1周 3.7 km (110周)	407.077 km
ワトキンズ・グレン					
F - 1	1	B R M	G. ヒル	2° 20' 36" 1	173.74 km/h
	2	ブ ラ バ ム	D. ガーニー	2° 20' 48" 6	173.45 "
	3	フェラーリ	J. ブラバム	2° 21' 33" 6	172.53 "
	4	フェラーリ	L. パンディーニ	1周 遅れ	
	5	フェラーリ	P. ロドリゲス	1周 遅れ	
	6	ク ー バ ー	J. リント	2周 遅れ	
	7	ホ ン ダ	R. ギンサー	2周 遅れ	No. 11
(10) メキシコ G P				1周 5.12 km (65周)	335 km
メキシコ・シティ					
F - 1	1	ホ ン ダ	R. ギンサー	2° 08' 32" 10	151.70 km/h
	2	ブ ラ バ ム	D. ガーニー	2° 08' 34" 99	151.64 "
	3	ロ ー タ ス	M. スペンス	2° 09' 32" 25	150.42 "
	4	ブ ラ バ ム	J. シフェール	2° 10' 26" 52	149.50 "
	5	ホ ン ダ	R. バックナム	1周 遅れ	
	6	ロ ー タ ス	R. アットウッド	1周 遅れ	

1965年度世界チャンピオンシップ

クラス別	順位	メー カー	ド ラ イ バ ー
F 1	1	ロ ー タ ス	J. クラーク (ローカス)
	2	B R M	G. ヒル (BRM)
	3	ブ ラ バ ム	J. スチュアート (BRM)
	4	フ ェ ラ ー リ	D. ガーニー (ブラバム)
	5	ク ー パ ー	J. サーアイーズ (フェラーリ)
	6	ホ ン ダ	L. バンディーニ (フェラーリ)
	7		R. ギンサー (ホンダ)
	16		R. バックナム (ホンダ)

F - 2

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平 均 時 速
(1)	シルバーストン				3月20日
	(中 止)				
(2)	オルトンパーク				4月 3日
	ホンダ出場せず				
(3)	スネットートン			1周 4.631km(50周) 218.08km	4月10日
F-2	1	ブラバム・BRM	G. ヒル	1°20' 54" 2	161.725km/h
	2	ブラバム・コスワース	M. ベクウィズ	1°21' 42" 4	160.2 "
	3	ロータス	J. クラーク	1°21' 53" 0	160.0 "
	4	ローラ・コスワース	R. アットウッド	1°22' 21" 2	
	5	ブラバム・コスワース	A. リース	1°22' 49" 0	
	6	ブラバム・コスワース	J. シュレッサー	1周 遅れ	
	9	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	3周 遅れ	
	BL	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	1' 34" 6	166.0 "
(4)	ポ	ー		1周 2.760km(8.0周) 220.800km	4月25日
F-2	1	ロータス・コスワース	J. クラーク	2°23' 24" 4	92.378km/h
	2	ローラ・RB M	R. アットウッド	1周 遅れ	
	3	ブラバム・コスワース	J. リント	1周 遅れ	
	4	ローラ・コスワース	T. マッグス	2周 遅れ	
	5	クーパー・RB M	J. スチュアート	2周 遅れ	
	6	ブラバム・フォード	J. シュレッサー	2周 遅れ	
		ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	14周でリタイヤ	

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速
------	----	-------	-------	-------	------

(5) オルトンパーク

9月18日

ホンダ出場せず

(6) アルビ GP

1周 3.636km(85周) 309.072km

9/26

F 2	1	ロータス・コスワース	J. クラーク	1' 55" 17"	6	160.845km/h
	2	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	1' 55" 18"	2	160.831 "
	3	レブコ・ブラバム	D. ハルム	1' 55" 40"	6	160.312 "
	4	ブラバム・コスワース	J. リント	1' 56" 08"	7	159.665 "
	5	ブラバム・コスワース	A. リース	1周遅れ		
	6	ロータス・コスワース	M. スペンス	1周遅れ		
	BL	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	1' 19"	7	164.242 "

1966 年度

F - 1

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	ダ イ ム	平均時速
(1)	南アフリカ G P				1月 1日
		ホンダ出場せず			
(2)	モ ナ コ G P				5月 22日
		モンテ・カルロ			
		ホンダ出場せず			
(3)	ベルギー G P				6月 12日
		・ フランコルシャン			
		ホンダ出場せず			
(4)	フランス G P				7月 3日
		ライム			
		ホンダ出場せず			
(5)	イギリス G P				7月 16日
		プランズハッチ			
		ホンダ出場せず			
(6)	オランダ G P				7月 24日
		ザンドボート			
		ホンダ出場せず			
(7)	ド イ ツ G P				8月 7日
		ニュールブルックリンク			
		ホンダ出場せず			

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
(8) イタリア GP	1周 5.75 km (68周) 391km				
モンツァ					9月 4日
F-1	1	フェラーリ	L.スカルフィオッティ	1'47'14" 4	218.748 km/h
	2	フェラーリ	M.バクス	1'47'20" 6	
	3	レプコ・プラバム	D.ハルム	1'47'20" 9	
	4	クーパー・マセラッティ	J.リント	1'47'46" 3	
	5	ロータス・BRM	M.スペンス	1周 遅れ	
	6	プラバム・クライマックス	B.アンダーソン	2周 遅れ	
	ホンダ	R.ギンサー	18周でリタイヤ	No-18	
	BL	フェラーリ	L.スカルフィオッティ	1'32" 4	224.025 km/h
(9) アメリカ GP	1周 3.7 km (108周) 399 km				
ワトキンズ・グレン					10月1~2日
F-1	1	ロータス・BRM	J.クラーク	2'09'08"	185.00 km/h (新記録)
	2	クーパー・マセラッティ	J.リント		
	3	クーパー・マセラッティ	J.サーフィーズ	1周 遅れ	
	4	クーパー・マセラッティ	J.ミフェール		
	5	マクラレン・フォード	B.マクラレン		
	ホンダ	R.ギンサー	8周でリタイヤ	No-12	
	ホンダ	R.バックナム	5周でリタイヤ	No-14	
(10) メキシコ GP	1周 5.12 km (65周) 335km				
メキシコ・シティ					10月23日
F-1	1	クーパー・マセラッティ	J.サーフィーズ	2'06'35'34	154.042 km/h
	2	プラバム・レブコ	J.プラバム	2'06'43"22	153.882 "
	3	プラバム・レブコ	D.ハルム	1周 遅れ	
	4	ホンダ	R.ギンサー	1周 遅れ	No-12
	5	アメリカン・イーグル	D.ガーニー	1周 遅れ	
	6	クーパー・マセラッティ	J.ボニエ	2周 遅れ	
	7	ホンダ	R.バックナム	5周 遅れ	No-14
	ホンダ	R.ギンサー	1'53"75		
BL					

F - 2

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速
(1)	オルトン パーク				4月 2日
	ホンダ出場せず				
(2)	グッド ウッド (ペリス)			1周3.86km(42周) 161.21km	4月 11日
F-2	1	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	58' 50" 2	165.429km/h
	2	ホンダ・プラバム	D. ハルム	58' 50" 6	
	3	プラバム・コスワース	J. リント	59' 29" 2	
	4	プラバム・コスワース	A. リース	59' 30" 2	
	5	マトラ・BRM	G. ヒル	59' 56" 6	
	6	マトラ・BRM	J. スチュアート	1周遅れ	
	BL	ホンダ・プラバム	D. ハルム	1' 21" 8	169.16 km/h
(3)	ポー (7ラ-2)			1周2.76km(80周) 220.8km	4月 17日
F-2	1	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	1° 59' 14" 1	111.108km/h
	2	ホンダ・プラバム	D. ハルム	1° 59' 14" 6	
	3	プラバム・BRM	G. ヒル	2° 00' 44" 8	
	4	マトラ・コスワース	J. スチュアート	1周遅れ	
	5	プラバム・コスワース	A. リース	1周遅れ	
	6	ロータス・コスワース	J. クラーク	2周遅れ	
	BL	ホンダ・プラバム	D. ハルム	1' 26" 3	115.133km/h
	BL	ロータス・コスワース	J. クラーク	1' 26" 3	115.133 "
(4)	バルセロナ (スペイン)			1周3.79km(60周) 227.4km	4月 24日
F-2	1	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	2° 08' 49" 55	105.928km/h
	2	クーバー・BRM	J. スチュアート	2° 09' 35" 09	103.308 "
	3	ホンダ・プラバム	D. ハルム	2° 10' 10" 46	1周遅れ
	4	ローラ・コスワース	R. アットウッド	2周遅れ	
	5	プラバム	M. ベックワイト	3周遅れ	
	6	プラバム・BRM	G. ヒル	4周遅れ	

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タイ ム	平均時速
(5) ゾルダ - ハルギー					1周4.184km(48周) 200.832km
					5月 8日
F-2	1	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	1° 18' 57"	6 152.583km/h
	2	ホンダ・プラバム	D. ハルム	1° 19' 04"	7 152.547 "
	3	プラバム・コスワース	J. リント	1° 19' 30"	8 152.233 "
	4	プラバム・コスワース	K. アーレン	1° 20' 17"	5
	5	プラバム・コスワース	A. リース	1° 20' 30"	0
	6	ロータス・コスワース	P. アランデル	1° 21' 33"	0
	BL	ホンダ・プラバム	D. ハルム	1' 36"	8 155.603km/h(新記録)

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タイ ム	平均時速
(6) クリスタル パレス イギリス					1周224km(60周) 134.4km
					5月 30日
F-2	1	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	56' 27"	6 141.548km/h
	2	ホンダ・プラバム	D. ハルム	56' 28"	2
	3	プラバム・コスワース	A. リース	57' 17"	2
	4	プラバム・コスワース	J. リント	57' 20"	6
	5	ローラ・コスワース	F. ガードナー	57' 36"	2
	6	クーバー・BRM	E. オッフェンバッハ	1周遅れ	

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タイ ム	平均時速
(7) ライム REIMS フランス					1周8.301km(37周) 307.165km
					7月 2日
F-2	1	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	1° 33' 32"	4 197.026km/h
	2	プラバム・コスワース	A. リース	1° 33' 41"	3
	3	マトラ・BRM	J. P. ベルトワーズ	1° 33' 49"	0
	4	ロータス・コスワース	M. スペンス	1° 33' 50"	5
	5	ローラ・コスワース	R. アットウッド	1° 33' 50"	7
	6	ロータス・コスワース	P. アランデル	1° 35' 37"	1
	BL	ホンダ・プラバム	D. ハルム	14周でリタイヤ	
					BL マトラ・BRM J. イクス 2' 27" 6 202.481km/h

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タイ ム	平均時速
(8) ル - アン・フランス				1周6.542km(46周)300.932km	7月10日

F-2	1	ホンダ・プラバム	D.ハルム	1° 46' 33" 5	16.9.16km/h(新記録)
	2	プラバム・コスワース	A.リース	1° 46' 58" 7	
	3	ロータス・コスワース	P.ロドリゲス	1° 47' 54" 0	
	4	プラバム・コスワース	K.アーレン	1° 48' 41" 4	
	5	マトラ・B.R.M	G.ヒル	1° 48' 46" 3	
	6	ロータス・コスワース	T.プロクリダイク	1周遅れ	
		ホンダ・プラバム	J.プラバム	1周でリタイヤ	
	BL	ホンダ・プラバム	J.プラバム	2' 14" 6	174.971km/h(新記録)

F-2	1周3km(30周) 90km 8月21日				
	1	ホンダ・プラバム	J.プラバム	42' 27" 2	127.198km/h
	2	ホンダ・プラバム	D.ハルム	42' 28" 4	
	3	ロータス・コスワース	J.クラーク	42' 37" 0	
	4	プラバム・コスワース	T.ナイラー	43' 15" 4	
	5	プラバム・コスワース	K.アーレンス	43' 23" 6	
	6	ロータス・コスワース	P.アランディール	43' 30" 1	
	BL	ホンダ・プラバム	J.プラバム	1' 22" 4	131.068km/h(新記録)

F-2	1周12.5km(21周) 262.5km 9月11日				
	1	ホンダ・プラバム	J.プラバム	1° 35' 12" 5	162.231km/h
	2	ロータス・コスワース	J.クラーク	1° 35' 15" 8	
	3	ホンダ・プラバム	D.ハルム	1° 35' 17" 9	
	4	マトラ・コスワース	J.ステュアート	1° 37' 35" 1	
	5	ロータス・コスワース	F.オッジンガット	1° 38' 00" 7	
	6	マトラ・コスワース	J.ベルトワーズ	1周遅れ	
	BL	ホンダ・プラバム	J.プラバム	2' 50" 7	164.517km/h

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タイ ム	平均時速
------	----	-------	-------	------	------

(11) ル・マン

1周4.422km(60周) 26.547km

9月18日

F-2	1	ホンダ・プラバム	D. ハルム	1° 47' 27" 8	148.219km/h
	2	マトラ・コスワース	J. P. ベルトワーズ	1° 48' 19" 8	147.034 "
	3	ロータス・コスワース	E. オッフェンスタット	1周遅れ	
	4	マトラ・コスワース	J. スチュアート	1周遅れ	
	5	ローラ・コスワース	R. アットウッド	2周遅れ	
	6	ロータス・コスワース	J. クラーク	5周遅れ	
		ホンダ・プラバム	J. ブラバム	6周でリタイヤ	
	BL	ホンダ・プラバム	D. ハルム	1' 45" 0	151.611km/h

(12) アルビ

7ランズ

1周3.636km(85周) 309.073km

9月25日

F-2	1	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	1° 54' 32" 2	161.907km/h(新記録)
	2	マトラ・コスワース	J. シュレッサー	1° 55' 04" 1	
	3	ホンダ・プラバム	C. アーウィン	1° 55' 04" 3	
	4	マトラ・BRM	J. イクス	1周遅れ	
	5	ローラ・コスワース	F. ガードナー	1周遅れ	
	6	ローラ・コスワース	R. アットウッド	2周遅れ	
	BL	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	1' 19" 3	16507km/h(新記録)

(13) ブランズ・ハッチ

イギリス

1周4.2km(40周) 168.0km

10月30日

F-2	1	プラバム・コスワース	J. リント	1° 05' 05" 1	157.23km/h(新記録)
	2	ホンダ・プラバム	J. ブラバム	1° 05' 05" 8	
	3	ロータス・コスワース	J. クラーク	1° 05' 09" 8	
	4	マトラ・BRM	J. イクス	1° 06' 02" 4	
	5	マトラ・コスワース	J. P. ベルトワーズ	1° 06' 14" 4	
	6	マトラ・コスワース	J. シュレッサー	1° 06' 18" 0	
		ホンダ・プラバム	C. アーウィン	リタイヤ	
	BL	ホンダ・プラバム	J. ブラバム		159.97km/h(新記録)

1967年度

F-1

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速
(1) 南アフリカGP					1周 4.096km(80周) 325.6km
キヤラミ					1月 2日
No-11 F-1	1	クーバー・マセラティ	P.ロドリグス	2° 05' 45" 9	156.323km/h
	2	クーバー・クライマックス	J.ロブ	2° 06' 12" 3	155.777 "
	3	ホンダ	J.サーティーズ	1周遅れ	154.080 "
	4	グラバム・レブコ	D.ハルム	2周遅れ	
	5	グラバム・クライマックス	R.アンダーソン	2周遅れ	
	6	グラバム・レブコ	J.グラバム	4周遅れ	
	BL	グラバム・レブコ	D.ハルム	1' 29" 9	164.011km/h
(2) モナコGP					1周 3.145km(100周) 314.5km
モンテ・カルロ					5月 7日
No-7 F-1	1	グラバム・レブコ	D.ハルム	2° 34' 34" 3	122.143km/h
	2	ロータス	G.ヒル	1周遅れ	
	3	フェラーリ	C.エイモン	2周遅れ	
	4	M 4 B	B.マクラレン	3周遅れ	
	5	クーバー・マセラティ	P.ロドリグス	4周遅れ	
	6	B R M	M.スペンス	4周遅れ	
		ホンダ	J.サーティーズ	33周でリタイヤ	
	BL	ロータス・フォード	J.クラーク	1' 29" 5	126.491km/h
(3) オランダGP					1周 4.193km(90周) 377.4km
ザンドボード					6月 4日
No-7 F-1	1	ロータス・フォード	J.クラーク	2° 14' 45" 1	168.087km/h
	2	グラバム・レブコ	J.グラバム	2° 15' 08" 7	167.540 "
	3	グラバム・レブコ	D.ハルム	2° 15' 10" 8	167.497 "
	4	フェラーリ	C.エイモン	2° 15' 12" 4	165.422 "
	5	フェラーリ	M.パークス	1周遅れ	
	6	フェラーリ	L.カラヴィオッセ	1周遅れ	
		ホンダ	J.サーティーズ	75周でリタイヤ	
	BL	ロータス・フォード	J.クラーク	1' 28" 08	171.375km/h

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速
(4) ベルギー G P				1周 14' 8 km (28周) 39 4.3 km	
			フランコルシャン		6月 18日
F-1 No-7	1	イ ー グ ル	D.ガーニー	1° 40' 49" 4	234.945 km/h
	2	B R M	J.ステュワート	1° 41' 52" 4	232.524 *
	3	フ ェ ラ ー リ	C.エイモン	1° 42' 29" 4	231.124 *
	4	クーパー・マセラティ	J.リント	1° 43' 03" 4	
	5	B R M	M.スペンス	1周 遅れ	
	6.	ロータス・フォード	J.クラーク	1周 遅れ	
		ホ ン ダ	J.サーティーズ		
	BL	イ ー グ ル	D.ガーニー	3' 31" 9	242.763 *

(5) フランス G P				1周 4.42 km (80周) 36 3.76 km	
				7月 2日	
			ホンダ出場せず		
(6) イギリス G P				1周 47.15 km (80周) 37 7.2 km	
			シルバーストーン		7月 15日
F-1 No-7	1	ロータス・フォード	J.クラーク	1° 59' 25" 6	189.28 km/h
	2	プラバム・レブコ	D.ハルム	1° 59' 38" 4	
	3	フ ェ ラ ー リ	C.エイモン	1° 59' 42" 2	
	4	プラバム・レブコ	J.プラバム	1° 59' 47" 4	
	5	クーパー・マセラティ	P.ロドリゲス	1周 遅れ	
	6	ホ ン ダ	J.サーティーズ	2° 00' 62" 2	2周 遅れ
	BL	プラバム・レブコ	D.ハルム	1' 27" 0	194.88 km/h

(7) 西ドイツ G P				1周 22.7 km (15周) 34 0.38 km	
			ニュールブルクリング		8月 26日
F-1	1	プラバム・レブコ	D.ハルム	2° 05' 55" 7	163.299 km/h
	2	プラバム・レブコ	J.プラバム	2° 06' 34" 2	
	3	フ ェ ラ ー リ	C.エイモン	2° 06' 34" 7	
	4	ホ ン ダ	J.サーティーズ	2° 08' 21" 4	No-7
	5	クーパー・マセラティ	J.ボニエ	2° 14' 37" 8	
	6	プラバム・レブコ	B.リジエ	1周 遅れ	
	BL	イーグル・ウェスレーク	D.ガーニー	8' 15" 1	165.996 km/h

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速
(8) カ ナ ダ G P				1周 3.943km(90周) 354.8km	8月26日

ホンダ出場せず

⑨イタリア G P モンツア					
					1周 5.75km(68周) 391km
No-14	1	ホ ン ダ	J.サーティーズ	1° 43' 45"	226.119km/h
F-1	2	プラバム・レブコ	J.プラバム	1° 43' 45" 2	
	3	ロータス・フォード	J.クラーク	1° 44' 08" 1	
	4	クーパー・マセラティ	J.リント	1° 44' 41" 6	
	5	B R M	M.スペンス	1周 遅れ	
	6	クーパー・マセラティ	J.イクス	2周 遅れ	
	BL	ロータス・フォード	J.クラーク	1' 28" 5	233.898km/h

⑩ アメリカ G P ワトキンズ・グレン					
					1周 3.7km(108周) 339.6km
F-1	1	ロータス・フォード	J.クラーク	2° 03' 13" 2	194.65km/h
	2	ロータス・フォード	G.ヒル	2° 03' 19" 5	194.49
	3	プラバム・レブコ	D.リルム	1周 遅れ	
	4	クーパー・マセラティ	J.シファート	2周 遅れ	
	5	プラバム・レブコ	J.プラバム	4周 遅れ	
	6	クーパー・マセラティ	J.ボニエ	7周 遅れ	
No-3	8	ホ ン ダ	J.サーティーズ	96周でリタイヤ(完走)	
	BL	ロータス・フォード	G.ヒル	1' 06" 0	201.90km/h

⑪ メキシコ G P メキシコ・ジアイ					
					10月22日
F-1	1	ロータス・フォード	J.クラーク	1° 59' 28" 70	163.22km/h
	2	プラバム・レブコ	J.プラバム	2° 01' 54" 06	
	3	プラバム・レブコ	D.リルム	1周 遅れ	
	4	ホ ン ダ	J.サーティーズ	1周 遅れ	No-3
	5	B R M	M.スペンス	2周 遅れ	
	6	クーパー・マセラティ	P.ロドリゲス	2周 遅れ	
	BL	ロータス・フォード	J.クラーク	1' 48" 16	166.466km/h

1967年度世界チャンピオンシップ

クラス別	順位	メーカー	ドライバー
F-1	1	プラバム・レブコ	D. ハルム(プラバム・レブコ)
	2	ロータス・フォード	J. プラバム(プラバム・レブコ)
	3	クーパー・マセラティ	J. グラーク(ロータス・フォード)
	4	ホンダ	J. サーティーズ(ホンダ)
	5	フェラーリ	C. エイモン(フェラーリ)
	6	B R M	P. ロドリゲス(クーパー・マセラティ)
	7	イーグル	

1968 年度

F-1

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タイ ム	平均時速
(1) 南アフリカ GP					1周 4.096km (80周) 325.6km
キャラミ					1月 1日
F-1	1	ロータス・フォード	J. クラーク	1° 53' 56" 6	172.87km/h
	2	ロータス・フォード	G. ヒル	1° 54' 21" 9	172.24 "
	3	ブラバム・レブコ	J. リント	1° 54' 27" "	172.12 "
	4	フェラーリ	C. エイモン	2周 遅れ	167.67 "
	5	マクラレン BRM	D. ハルム	2周 遅れ	
	6	マトラ	J. P.ベルトワーズ	3周 遅れ	
	7	クーパー・マセラティ	J. シェファード	3周 遅れ	
	8	ホンダ	J. サーティーズ	5周 遅れ	161.7km/h
	9	ブラバム・レブコ	J. ロブ	6周 遅れ	
	BL	ロータス・フォード	J. クラーク		
(2) スペイン GP					1周 3.4km (90周) 306km
ハラマ					5月 1日
F-1	1	ロータス	G. ヒル	2°15' 20" 1	135.842km/h
	2	マクラレン・フォード	D. ハルム	2°15' 36" 1	135.572 "
	3	クーパー・BRM	B. レッドマン	1周 遅れ	
	4	クーパー・BRM	L. スカルカイオッティ	1周 遅れ	
	5	マトラ	J. P.ベルトワーズ	9周 遅れ	
	BL	マトラ	J. P.ベルトワーズ	1' 28" 2	138.796km/h

追 補

レース関係資料(1968)

〈諸元表〉

F - 1 1968年度出場車

エンジン		フレーム	
機種名	R A 3 0 1	機種名	
エンジン型式	90° V型 12気筒	オイルベース	2410mm
内径×行程	78×52.2 mm	トレッド(フロント)	1440mm
総排気量	2992 CC	" (リヤ)	1400mm
点火方式	ホンダ式トランジスター点火	全長	3720mm
圧縮比	11.5	全高	802mm (ウイング含む)
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1781mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	89mm
バルブ型式	D O H C 4バルブ方式	ボディー型式	モノコック構造
気化器	ホンダ式 低圧吸入管定時噴射装置	タイヤ(前)	9.5-13 in(ファイヤーストン)
燃料ポンプ	電動式	" (後)	14.0-13.0 in(")
冷却方式	水冷	燃料タンク	200 l
変速機	ホンダ製常時啮合前進5段後進1段	使用燃料	シエル
最高出力	450 PS以上	ブレーキ方式	ガーリングディスクブレーキ
最高速度	360 km/h以上	懸架方式	前後ともタブルウイッシュボーン
重量(乾燥)		車両重量	530kg(水・オイルを含む)

特徴

エンジン、車体ともまったくの新設計によるもので、現在(1968年)世界中の3,000CCエンジンの中で最大の出力を發揮し、高いトルク特性をもっております。

F-1 1968年度出場車

エンジン		フレーム	
機種名	RA302	機種名	
エンジン型式	120° V型 8気筒	オイルベース	2,360mm
内径×行程	86° × 61.4mm	トレッド(フロント)	1,500mm
総排気量	2,987.5CC	" (リヤ)	1,415mm
点火方式	トランジスター点火方式	全長	3,780mm
圧縮比	11.5:1	全高	816mm (ウイング含まず)
潤滑方式	ドライサンプ	全巾	1,796mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	85mm
バルブ型式	DHOC 4バルブ方式	ボディー型式	モノコック構造
気化器	ホンダ式 低圧吸入管定時噴射装置	タイヤ(前)	9.00×15in(ファイアストン)
燃料ポンプ	電動式	" (後)	14.00×15in("
冷却方式	空冷	燃料タンク	200ℓ
変速機	ホンダ製 常時啮合前進5段後進1段	使用燃料	シエル
最高出力	430PS以上	ブレーキ方式	ガーリングディスクブレーキ
最高速度	360km/h以上	懸架方式	前後ともダブルウイッシュボーン
重量(乾燥)		車両重量	500kg(オイルを含む)

特徴

独特の空冷、V型8気筒エンジンを採用。徹底的な軽量化とともに重心をグンと低くしました。しかもF-1では最大の出力と高いトルク特性をもっています。

車体はユニークな冷却風通路を兼ねそなえたモノコック構造で、軽量、かつ空力的に十分な考慮が払われています。

フルス GP 焼上

1回き)

<レース記録>

1968年度

F-1

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速	周回数
						1周 4.088km(80周) 32.7.04Km/h
(1) 南アフリカ GP キャラミ						1月 1日
F-1	1	ロータス・フォード	J・クラーク	1'53''56"6	172.87Km/h	80
	2	ロータス・フォード	G・ヒル	1'54''21"9	172.24 "	80
	3	グラハム・レブコ	J・リント	1'54''27"0	172.11 "	80
	4	フェーラーリ	C・エイモン	1'54''32"2	167.68 "	78
	5	マクラレン B.R.M	D・ハルム	1'54''45"6	167.35 "	78
	6	マトラ	J.Pベルトワーズ	1'55''06"9	164.70 "	77
	7	クーペ・マセラティ	J・シェファード			77
	8	ホンダ	J・サーティーズ	1'54''12"2	161.707Km/h	75
	9	グラハム・レブコ	J・ロブ			74
	BL	ロータス・フォード	J・クラーク	1'23"7	176.51Km/h	

気温 35°C、コース上 54°C の高温のため各車オーバーヒートに悩まされ、リタイヤ続出した
出走 24 台 完走 9 台

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速	周回数
(2) スペイン GP		1周 3.435km 90周 306.4km				
ハラマ						5月12日
F-1	1	ロータス・フォード	G・ヒル	2'15"20"	135.842km/h	90
	2	マクラレン・フォード	D・ハルム	2'15"36"	135.572 "	90
	3	クーパー・BRM	B・レッドマン	2'16"03"		89
	4	クーパー・BRM	L・スカルカイティ	2'16"03"		89
	5	マトラ・フォード	J.P.ベルトワーズ	2'16"36"		81
	BL	マトラ・フォード	J.P.ベルトワーズ	1'28"2	138.796km/h	

出走13台中完走5台という過酷なレースで、J・サーティーズの操縦するホンダF-1は、7.5周目、2位のD・ハルム(マクラレン)との差を縮めつつあつた時に惜しくもリタイヤした。原因是ギヤ・ポックスのトラブル

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速	周回数
(3) モナコ GP		1周 3.138km 80周 251.04km				
モンテカルロ						5月26日
F-1	1	ロータス・フォード	G・ヒル	2'00"32"	125.238km/h	80
	2	B R M	R・アットウッド	2'00"34"	125.02 "	80
	3	クーパー・BRM	L・ビアンキ			76
	4	クーパー・BRM	L・スカルカイティ			76
	5	マクラレン・フォード	D・ハルム			73
	BL	B R M	R・アットウッド	1'28"1	128.513km/h	

本年度F-1世界選手権の第三戦モナコGPは、5月26日モンテカルロで行なわれ、ホンダのJ・サーティーズは17周目ギヤ・ポックスのトラブルのため惜しくもリタイヤした。このコースは、モンテカルロの市街路を閉鎖して行なわれ、曲りくねって上り下りの激しい世界の難コース中の一つで、16台でスタートしながら、D・ガーニー、J・リント、J.P.ベルトワーズなども次々にリタイヤし、20周目には5台しか残っていないという過酷なレースだつた。

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速	周回数
(4) ベルギー GP				1周 14.12km 28周 395.36km		
スパ・フランコルシャン				6月 9日		
F-1	1	マクラレン・フォード	B. マクラーレン	1°40' 02" 10	235.42 km/h	28
	2	B.R.M	P. ロドリゲス	1°40' 14" 2		28
	3	フェラーリ	J. イクス	1°40' 41" 7		28
	4	マトラ・フォード	J. スチュアート			27
	5	ロータス・フォード	J. オリバー			26
	6	クーパー・B.R.M	L. ピアンキ			26
	BL	ホンダ	J. サーティーズ	3' 30" 5	241.140 km/h	

レースは1周14.1kmのコースを28周する。ホンダのジョン・サーティーズは2周目早くもトップに立ち、3分30秒5のラップレコード(新記録)を樹立して快調に走り、10周が終った時には2位のD.ハルムに1.9秒の大差をつけて独走していた。ホンダの優勝がほとんど決ったかのようにみえていたが、11周目ピットイン、そのままリタイヤして惜しくも入賞を逃した。原因はリヤ・サスペンションのトラブル。出走18台。完走7台。

このコースでの過去最高記録は昨年ダン・ガーニー(イーグル)による3分31秒9、平均239.547で、ホンダのラップレコードは1秒余も縮める新記録でした。

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速	周回数
				1周 4.193 km	90周 377.37 km	
⑤ オランダ GP		ザンドボート			6月23日	
F-1	1	マトラ・フォード	J. スチュアート	2° 46' 11" 26	136.245 km/h	
	2	マトラ	J.P.ベルトワーズ	2° 47' 45" 19		
	3	B R M	P. ロドリゲス	2° 47' 43" 36		8.9
	4	フェラーリ	J. イクス	2° 47' 50" 59		8.8
	5	プラバム・レブコ	S. モーザー	2° 47' 51" 49		8.7
	6	フェラーリ	C. エモン	2° 46' 20" 78		8.5
	BL	マトラ	J.P.ベルトワーズ	1' 45" 91		

この日、海岸に近いコースは集中豪雨的な雨で、各車ともタイヤの選定とマシンのトラブルに悩まされた。

ホンダのJ. サーティーズは、プラクティスの結果10位でスタート、終始11位~12位を走行していたが、51周目、操縦性が不安定になりリタイヤした。

最悪のコンディションでのレースだったため、優勝したJ. スチュアートのタイムも1953年以来最低の記録で、ベストラップも20秒余も遅いという苦しいレースだった。

出走19台 完走9台。

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速	周回数
				1周 6.54 km 60周 390.520 km		
(6) フランス G P		ルーアン			7月 7日	
F-1	1	フェラーリ	J. イクス	2° 25' 40" 9	161.662 km/h	60
	2	ホンダ	J. サーティーズ	2° 27' 39" 5	159.497 "	60
	3	マトラ	J. スチュアート			59
	4	クーパー B RM	V. エルフォード			58
	5	マクラレン フォード	D. ハルム			58
	6	B R M	P. カレッジ			57
	BL	B R M	P. ロドリゲス	2' 11" 5	179.096 km/h	

1968年度F-1世界選手権第6戦フランスGPは、7月7日雨の降る最悪のコンディションの中、ルーアン・サーキットで行なわれた。ホンダRA301に乗るJ. サーティーズ(イギリス人)はプラクティスの結果7位でスタート、10周目既に3位に進出、その後快調な走行を続けた。しかし、前を走るP. ロドリゲスから飛んだ物体によりゴーグルを壊しピットイン、新しいゴーグルで再スタートし、惜しくも優勝は逃したが、J. イクスのフェラーリに次いで堂々2位でゴールインした。

一方、RA302に乗るJ. シュレッサー(フランス人)は、2周目下り第1コーナーでコントロールを失い、転覆炎上、不幸にして死亡するという事態が発生いたしました。故人並びにその遺族に対し深く哀悼の意を表します。出走17台。

※ J. シュレッサー (JO SCHLESSER)

1928年生フランス人。

1967年ポルシェと契約、1968年はF-2レース他ポルシェで活躍、スペ1,000kmで2位。

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速	周回数
(7) イギリス GP		1周4.265km 80周 341.2km				
ブランズハッサ		7月20日				
F - 1	1	ロータス・フォード	J. シファート	2°01'20"3	168.70km/h	80
	2	フェラーリ	C. エモン	2°01'24"7	168.60 "	80
	3	フェラーリ	J. イクス			79
	4	マクラレン・フォード	D. フルム			79
	5	ホンダ	J. サーティーズ			78
	6	マトラ・フォード	J. スチュアート			78
	BL	ロータス・フォード	J. シファート	1'29"7	171.160km/h	

ホンダのJ. サーティーズは、前日までのプライティスの結果9位でスタートし、13周目5位に立ち快調に追い上げていった。後半、車体後部に新たに取りつけたエア・スタビライザー（抵抗翼）が落ちたが、J. サーティーズはそのまま操縦を続け5位でゴールインした。
出走20台完走9台。

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速	周回数
(8) ドイツ GP		1周2.28km 14周 319.2km				
ニュルブルクリンク		8月 4日				
F - 1	1	マトラ・フォード	J. スチュアート	2°19'03"2	139.8 km/h	14
	2	ロータス・フォード	G. ヒル	2°23'06"4	133.1 "	14
	3	ブラバム・レブコ	J. リント	2°23'12"6	133.0 "	14
	4	フェラーリ	J. イクス	2°24'58"4		14
	5	ブラバム・レブコ	J. ブラバム	2°25'24"3		14
	6	B R M	P. ロドリゲス	2°25'28"2		14
	BL	マトラ・フォード	J. スチュアート	9'38"0	142.4 km/h	

ドイツGPは8月4日、雨と霧の最悪のコンディションの中で行なわれ、ホンダRA301 (J. サーティーズ)は冷却系統のトラブルにより3周でリタイヤした。
出走20台完走14台。

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タ イ ム	平均時速	周回数
				1 周 5.75 km	68周	391 km
⑨ イタリア GP モンツア				9月 8日		
F - 1	1	マクラレン・フォード	D. ハルム	1' 40" 14"	234.022 km/h	68
	2	マトラ・フォード	J. S. キヤビン	1' 41" 43"		68
	3	フェラーリ	J. イクス	1' 41" 43"		68
	4	B R M	P. カレッジ			67
	5	マトラ	J.P. ベルトワーズ			66
	6	マクラレン B R M	J. ボニエ			64
	BL	ロータス・フォード	J. オリバー	1' 26"		

ホンダRA301(水冷)を操縦するジョン・サーティーズ(英国人)は、前日までのプラクティスで1分26秒1のラップレコードを出し1位でスタート、1位~3位の間を余裕をみせながら走っていたが、7周目、直前を走るフェラーリ(クリス・エイモン)がオイルに乗りスリップ、ガードレールに衝突し、サーティーズはこれを避けきれずに接触、不測の事故にリタイヤを余儀なくされた。

同じくホンダRA301(水冷)を操縦するデビッド・ホップス(英国人)は、終始慎重に走り続けたが、42周目エンジントラブルによりリタイヤした。

※ デビッド・ホップス(DAVID HOBBS)

1939年6月9日英国生れ。

20才頃からレースを始め、現在ジョン・サーティーズとともにローラ・スポーツカーチームに所属。このイタリアGPでホンダF-1を操縦した新進ドライバー。

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速	周回数
				1周 4.265 km	90周 383.85 km	
⑩ カナダ GP		サン・ショビツ			9月22日	
F - 1	1	マクラレン・フォード	D. ハルム	2°27'11"2	156.04 km/h	
	2	マクラレン・フォード	B. マクラレン	1周おくれ		
	3	B R M	P. ロドリゲス	2周おくれ		
	4	ロータス・フォード	G. ヒル	4周おくれ		
	5	クーパー・BRM	V. エルフォード	4周おくれ		
	6	マトラ・フォード	J. スチュアート	7周おくれ		
	BL	マトラ・フォード	J. スチュアート	1'35"5	160.7 km/h	

F - 1 レースは初めてのサン・ショビツ・サーキット(モントリオールの北130km)で行なわれ、ホンダのJ. サーティーズ(RA301)は、プラクティス7位でスタートしたが、10周目、ミッショーン・トラブルのためリタイヤした。出走21台 完走7台。

クラス別	着順	メー カー	ドライバー	タイ ム	平均時速	周回数
				1周 3.7 km 108周 399.6 km		
⑪ アメリカ G.P		ワトキンズグレン			10月 6日	
F - 1	1	マトラ・フォード	J. スチュワート	1° 59' 20" 29	200.94 km/h	108
	2	ロータス・フォード	G. ヒル	1° 59' 44" 97	200.25 "	108
	3	ホンダ	J. サーティーズ	1° 59' 32" 80	197.62 "	107
	4	マクラレン・フォード	D. ガーニー	1° 59' 46" 04	197.26 "	107
	5	ロータス・フォード	J. シファート		194.14 "	105
	6	マクラレン・フォード	B. マクラレン		189.44 "	103
	BL	マトラ・フォード	J. スチュワート	1' 05" 22	204.32 "	

J. サーティーズはプラクティスの結果9位でスタートしたが、周を重ねるにつれて快調に追い上げ4位に進出、その時、直前を走るD. ガーニーが急激にスピン、あわやイタリアG.Pの二の舞かと思わせたが、J. サーティーズは巧みにこれを避け3位に上り、93000人の観客をうならせた。

その後33周目D. ガーニーに再び3位を奪われ15秒もの差が開いたが、J. サーティーズのラストスパートは激しく、遂に最終ラップ、D. ガーニーを抜き去り3位でゴールインした。

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速	周回数
(12) メキシコ GP				1周 4.99 km	65周 324.274 km	
メキシコシティー				11月 3日		
F-1	1	ロータス・フォード	G. ヒル	1° 56' 43" 95	167.053 km/h	65
	2	マクラレン・フォード	B. マクラレン	1° 58' 03" 27	165.183 "	65
	3	ロータス・フォード	J. オリバー	1° 58' 24" 60	164.684 "	65
	4	B R M P. ロドリゲス		1° 58' 25" 04	164.669 "	65
	5	ホンダ	J. ボニエ	1° 57' 44" 95	162.308 "	64
	6	ロータス・フォード	J. シヴァート	1° 57' 56" 26	162.808 "	64
	BL					

本年度F-1世界選手権第12戦(最終戦)メキシコGPは、11月3日メキシコシティーで行なわれ、ホンダ(RA301)に乗るJ.ボニエは堂々5位に入賞、同じくホンダ(RA301)のJ.サーティースは惜しくも17周でリタイヤした。

※ J. ボニエ (JOAKIM BONNIER)

1930年生 スエーデン人。

1959年~1965年の間F-1 B.R.Mやポルシェに乗り、1966年シャバラルジニュールブルックリンク1.000kmに優勝。現在グランプリ・ドライバーズ・アソシエーションの会長をしているベテラン・ドライバー。

1968年度F-1世界チャンピオンシップ

順位	コンストラクターズ、 チャンピオンシップ		順位	ドライバーズ・チャンピオンシップ			
	メー カー	得点		ドライバー	国 種	車 名	得点
1	ロータス・フォード	62	1	G. ヒル	イギリス	ロータス・フォード	48
2	マクラーレン・フォード	51	2	J. スチュアート	イギリス	マトラ・フォード	36
3	マトラ・フォード	45	3	D. ハルム	ニュージーランド	マクラーレン・フォード	33
4	フェラーリ	32	4	J. イクス	ベルギー	フェラーリ	27
5	B R M	21	5	B. マクジレン	ニュージーランド	マクラレン・フォード	22
6	クーパー B.R.M.	16	6	P. ロドリゲス	メキシコ	B R M	18
7	ホンダ	14	7	J. サーティーズ	イギリス	ホンダ	12
	ブランバム	10	7	J. シファート	スイス	ロータス・フォード	12

発行 1968年11月
本田技研工業株式会社 広報室
東京都中央区八重洲5丁目5番地
電話 272-4411(大代表)

(この資料に関するお問い合わせは上記広報室へどうぞ)

